

とうふせいぞうさぎょう 豆腐製造作業 ぎのうひょうかしけん 技能評価試験	せんもんきゅうじつぎしけん 専門級実技試験 とうふせいぞうさぎょうしけん 豆腐製造作業試験	まさいぶんり 磨碎・分離・ ぎょうこ 凝固・こわしならし
---	--	---------------------------------------

しけんがいよう 試験概要

1 しけんもくてき 試験の目的

えいせいてきとうふせいぞうおこなうじゅんび
衛生的に豆腐製造を行うための準備ができるか。

さぎょうてじゅんそつてあんぜんさぎょう
作業手順に沿って安全に作業ができるか。

2 さぎょうないようじかん 作業内容と時間

① ないようだいずまさいぶんりさぎょうぎょうこさぎょう
内容『大豆の磨碎・分離作業ができること』『凝固作業・こわし
ならし作業ができること』

② しけんじかんぶん
試験時間：60分

3 しけんちゅういてん 試験の注意点

- さぎょうてじゅんそつてさぎょうおこな
・作業手順に沿って作業を行えたか。
- せいげんじかんないさぎょうかんりよう
・制限時間内に作業が完了したか。
- にじおせんいぶつこんにゅうえいせいてきさぎょうおこなった
・二次汚染、異物混入しないように、衛生的に作業を行ったか。
- ききびひんとりあつかいちゅういあんぜんさぎょうおこなった
・機器や備品等の取り扱いに注意し、安全に作業を行ったか。

さぎょうてじゅん
作業手順

1 ^{だいず}大豆の^{まさいさぎょう}磨砕作業

- ① ^{しんせき}浸漬した^{だいず}大豆を^{じゅんび}準備しておく（^{かいじょうようい}会場用意）。



- ② ^{しけんかん}試験官の^{あいず}合図で^{はじ}始める。

- ③ ^{だいず}大豆5キロを^{しばりき}絞り機に^い入れる



- ④ パネル左上の「粉碎給水」のスイッチをいれ、水が出てきたら、
「粉碎」のスイッチを入れる。



- ⑤ 大豆をすべて流し込む。試験官に流し込む道具を要求する。



- ⑥ メモリが「30」まで行ったら、パネル左上の「粉碎給水」
「粉碎」のスイッチ2つを切る。



- ⑦ 補佐員に消泡剤を要求する。消泡剤を受け取り、入れ、
混ぜる。補佐員に混ぜる道具を要求する。



⑧ パネル右下の「吸上」スイッチを押す。



⑨ ホースを使い、水で流し込む。パネル右下の「吸上」スイッチを切る。



2

①



②



- ③ 3分くらい待って、パネル下中央の「煮沸攪拌」「煮沸副」のスイッチを切る。



- ④ 次にパネル下左の「送り込み」「液排出」のスイッチを同時に押す。



⑤ 30 秒^{びよう}くらい^{あと}後に^{ぱねる}パネル^る左^{ひだり}下^{した}の「送り込み」^{おくこ}「液排出」^{えきはいしゅつ}スイッチ^{すいっち}
を^き切る。



3 ^{とうにゅう} 豆乳の^{ぎょうこざい}凝固作業

- ① ^{ほさいん} 補佐員に「^{ぎょうこざい} 80℃で凝固剤^いを入れる」と^いう。
- ② ^{ほさいん} 補佐員に^{おんどけい} 温度計をもらい、^{おんど} 温度^{はか}を測る。80℃になるのを待つ。



- ③ 80℃になったら^{ほさいん} 補佐員に^{ぎょうこざい} 凝固剤を^{ようきゅう} 要求する。^{はこ} 箱に^{ぎょうこざい} 凝固剤^いを入れ、
ゆらして^ま混ぜる。



④ ^{はこ}箱に^{とうにゅう}豆乳を^いいっきに入れる。



⑤ むらす。



4 成型作業（こわしならし）

① 補佐員から^{ほさいん}カッターをうけとり、^{とうふ}豆腐をこわす。



② 補佐員から^{ほさいん}シートを受け取り、^{しらばこ}平箱の中に^{なか}シートをしく。こわした^{とうふ}豆腐を^{しらばこ}平箱にうつし、補佐員から^{ほさいん}ヘラをもらって、^{たい}平らになる

ように、ならず。



③ ^{うえ}上にも^{しーと}シートをかぶせて、ふたをする。



④ ^{ほさいん}補佐員から^{おも}重しをもらい^{ふんぶれす}5分プレスする。その後^{あとほさいん}補佐員が
^{ぶれすき}プレス機で^{ふんぶれす}15分プレスする。



⑤ ^{かんせい}完成を^{しけんかん}試験官がみる。

